

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 はつらつ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		狭いスペースの中でも四つ角をフル活用してスペースをつくる等の工夫をしています。	室内が狭いので人数が多いと密接にならないように配慮していきたいと思います。
	②	職員の配置数は適切である	○			基本的には利用人数に応じて4~7名くらいの職員を配置するようにしています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		療育室が狭くなっているが、物を整理して片付けることで広くなるよう工夫しています。	建物が古く老朽化していて段差も多くなっているため、その分職員が十分な配慮をしていきたいと思ます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			参画出来ない非常勤職員には、話し合った内容を記録にとって確認してもらい共有しています	非常勤職員がなかなか参画出来なく全て共有できていないことがあるので、可能な限り参画出来るよう機会を増やしていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			改善していかなければいけない点は、職員全員で共有して改善に向けて業務を取り組んでいます。	日々の会議で改善しなければいけないなどを話し合っ、可能な限り解決に向けて取り組んでいけるようにしたいと思ます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			お手紙にも通知して定期的に毎年ホームページにて公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			実際に第三者に評価してもらう機会が少なかったため、必要に応じて専属のコンサルトに依頼していきま
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		定期的に主に内部研修を行っています。	特に外部研修を参加出来ない職員がいるので、極力多くの研修の機会を与えていけるよう配慮したいで
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的に保護者とお子様の課題やご要望も話し合っています。活動ごとに分析・評価を行い個別支援計画を作成しています。	お子様自身の『好きなこと』を日常の療育の中でよく観察しながら見つけていくことでニーズをより明確にしていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールもあり、それに基づいたお子様の特性は職員全員で共有するようにはしています。	お子様をよく観察し、より細やかな特性を知っていくために日々の会議の中で話し合っ共有していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			会議を行い意見を出し合いながら、その活動により、どこが成長するのかも考えながら活動プログラムを考えています。	目標や支援方法、手段をより明確化することにより、お子様一人一人の成長につなげていくことを続けていきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			活動プログラムは段階を踏んで成長出来るように常に内容を変えています。	色々な活動が考えられるように職員会議で反省と改善を繰り返して努力をします。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			休日や長期休暇にしか出来ない時間がかかる活動プログラムを考え、平日とは違った支援を行っています。	休日や長期休暇の時には余暇の過ごし方も学べるように工夫していきたいと思ます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			活動プログラムは集団活動を中心にして個々にも目標を設定して計画を立てています。	同じ活動を行う中でも、それぞれの成長につなげた支援を行うため、毎日会議で状況共有を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日職員会議を行い、その日の打合せは欠かさず行っています。	書面化したものがいつでも確認できるように適切に管理を行えるように話し合っしていきたいです。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			必ず毎日会議で、その日の打ち合わせは欠かさず行っているようにはしております。	限られた時間の中で、職員が支援の振り返りが出来る方法を検討しております。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の支援の記録は細かくとって、その内容を元に職員会議で評価と今後につなげています。	現状もしっかりと続けていきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しについて職員会議で丁寧に話し合いをしています	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインに沿って活動は組み合わせさせて考えております。	職員がもっと理解を深められるように学んでいきたいと思ます。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		可能な限り管理者と児童発達支援管理責任者と2人で参加するようにはしています。	今後も状況に応じて積極的に参加していきたいと思ます。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			その都度、学校や保護者から情報をお聞きするように心がけております。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			現在は医療的ケアが必要な利用者様がないため、もし今後利用があった場合は主治医と連携をとっていききたいと思ます。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		お子様の就学前の情報はこちらも把握させていただいています。	今後も出来る限りお互いに情報共有していきたいと思ます。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			保護者や学校側から情報提供していただき、必要であれば連携をとっていききたいと思ます
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		機会を設けて参加したい内容の研修を参加するようにはしております。	今後も必要に応じて連携をとって、研修は積極的に参加していきたいと思ます。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			児童館や外出により障害のないお子様との交流は増やしています。	今後も可能な範囲で外出などで沢山の人の交流の場を増やしていく予定です。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○		機会を設けて参加したい内容の研修には参加するようにはしております。	出来る限り参加出来るように職員の見解も取り入れていきたいと思ます。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の様子は連絡帳や送迎時に伝えて一緒に考えられるように配慮しています。	継続して保護者の方が職員に話しやすい関係性を作っていきたいと思ます。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		毎月のお便りや個々に対しても必要な場面において、お子様への対応の仕方など、お悩みにお応えしています。	ペアレントトレーニングのご要望があれば、対応出来るようにしています。	
保	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や保護者から質問された時には、きちんと説明するようにはしております。	まだ利用者様によっては、説明不足や説明出来ないところもあるかもしれないので、今後も確認をとっていききたいです。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ご相談には一緒に考えて、保護者の方が分かりやすいようにお伝えしています。保護者の方の状況に合わせて助言を行っています。	今よりもより細かく具体的に保護者の方の困りごとにもお答え出来るよう職員の研修を行っていききたいです。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			今後も利用者様の必要に応じて検討していきたいと思ます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
護 者 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			出来る限り迅速かつ丁寧に対応できるようにしております。	今後も職員同士の連携や伝達がこちらできちんと出来ていないので、対応が遅れてしまわないよう気を付けていきたいです。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月の活動予定表に加え、そのお便りも定期的に配布しています。	SNSでの発信もしていきたいが、個人情報の観点から考えて慎重に検討していきたいと思えます。
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			個人情報関連のことは外部に漏れないよう職員全員で日々徹底しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童発達支援管理責任者自身の子どもに発達障害があることから、体験を踏まえた情報伝達をしております。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		長期休みや土曜日の外出によって、地域の方と関わりを持つようにはなりましたが、こちらから招待が出来ていないので、今後はどのようにして招待出来るかを検討していきたいです。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			定期的に職員には研修をして、それぞれの内容の理解を深めてもらうようにはしております。	利用者様によっては周知出来ていないところがあるので、お手紙やブログなどにより周知出来るようにしていきたいと思えます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎年必ず定期的に活動の一環として、計画を立てて訓練を行っております。	避難訓練を実際に行っているのか分からない利用者様もいるので、今まで取り組んでいない曜日に避難訓練を行っていく予定です。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に研修を行い、内容を理解してもらい、適切な対応がとれるよう徹底しています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			色々な視点から身体拘束にあたるのかどうかを細かく職員で話し合い、保護者の方にも伝えるようにはしております。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				現在は医師の指示に基づくアレルギーの利用者様がないので、今後このようなケースになった場合はきちんと対応していきたいと思えます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			定期的に職員で内部研修をして、その都度共有するようにしています。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。